



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和4年11月25日
学校だより12月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



メッセージ

学校長 犬塚 真

落ち葉が降り積もり、冬の訪れを感じる季節となりました。朝、門で子どもたちを迎えるときにも、ついつい日向を求めてしまいます。先日は「学校評価にかかわるアンケート」にご協力をいただき、ありがとうございました。皆様のご意見をふまえ、今後もよりよい学校づくりに努めてまいります。

ずいぶん前のことになりますが、校舎内を歩いていると階段の手前に「外はあついで水分をとったのしんでね!!」というメッセージが掲げられていました。「おや、なんだろう。」と思いながらその階段を下ると、今度は踊り場の正面に「いってらっしゃい」の文字。さらに踊り場を折り返すと、「野毛山動物園遠足」、「2年生」と文字が続きます。



聞けば6年生の子どもたちが、2年生の遠足の前日に掲示したものだとか。2年生はいったん教室に集まってからの出発でしたから、当日の登校時に下から順に読んでもらうつもりで貼ったものを私が反対から読んでしまったのです。実は、6年生はこれまでも各学年の行事に合わせて度々このようなメッセージを考えては、タイミングよく掲示をしていて、4年生や5年生が宿泊に出かけた時にも、「お帰りなさい」の心温まるメッセージがありました。

先日は3年生の子どもたちと区の音楽会に出かけました。感染対策としてステージ上でもマスクをしていましたが、口をしっかりと開けて歌っていることが伝わってくる明るい歌声を響かせていました。出かけるときには3年生が通る階段に「3年生 音楽会 がんばってね!」というメッセージが貼ってありました。今度は5年生が作成したそうです。そして、帰りには「3年生 音楽会 がんばったね!」と、メッセージが1文字だけ入れ替えられていました。3年生が出かけている間に誰かが文字を入れ替えるミッションを果たしたのでしょう。気の利いた演出に感心しました。

今、6年生の卒業文集に目を通していますが、一人ひとりの作文を読んでいると「友達からの一言で気持ちが大きく変わった。」「友達の言葉に励まされた。」というエピソードが数多く見られます。これは素敵なことです。そして、子どもたちにとって言葉の力はとても大きなものなのだ改めて気づかされました。コロナ禍で人と人とのふれあいが少なくなっている分、言葉の重みがより増しているのかもしれない。優しい言葉、力強い言葉、大切なのは相手を思い相手のために発するメッセージであるということでしょう。

さて、12月4日から10日は人権週間です。これを契機とし、互いを尊重し合う言葉や心を温かくするような言葉がさらにたくさん交わされる学校にしていきたいと考えています。

【人権週間】

1948年(昭和23年)12月10日、国際連合の第3回総会において、基本的人権尊重の原則を定めた「世界人権宣言」が採択されました。また、採択日である12月10日を「人権デー」としています。日本では毎年この人権デーを最終日とする12月4日から10日までの1週間を「人権週間」とし、人権尊重思想の普及や高揚を呼びかける啓発活動が展開されています。